

令和3年度

印旛地区教育研究集会

生活科分科会 提案資料

研究主題

主体的に学び合う児童を育成する生活科の学習指導
～生活科における導入, 振り返りの工夫を通して～



第3部会 印西市立小林小学校

齋藤 瞳

藤原さつき

寺島 愛乃

～目 次～

1	研究主題	1
2	主題設定の理由	1
3	研究のねらい	2
4	本研究における主題の基本的な考え方	2
5	研究の仮説	3
6	検証方法	3
7	授業実践① 2年生「春はっけん」	4
8	授業実践② 1年生「みんな なかよし」	12
9	仮説の考察	18

1 研究主題

主体的に学び合う児童を育成する生活科の学習指導
～生活科における導入、振り返りの工夫を通して～

2 主題設定の理由

(1) 学習指導要領から

生活科の教科目標は、「具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す」とあり、3つの視点が挙げられている。

- ①知識及び技能の基礎
- ②思考力・判断力・表現力等の基礎
- ③学びに向かう力、人間性等

また、これらの3点は、主体的・対話的な学びを通して伸ばしていく必要がある。主体的な学びのためには、児童の興味・関心を踏まえ、学習対象との適切な出会いの場を用意するとともに、その思いや願いがさらに膨らむような学習活動を展開していくことが大切である。そのためには、児童の思いや願いを膨らませる導入場面や、自分自身の成長に気付かせられる振り返りの時間の工夫が大切であると考えます。

(2) 学校教育目標から

本校の教育目標は、「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成」である。目指す児童像として、以下を掲げている。

- ・進んで学ぶ子ども
- ・やさしく思いやりのある子ども
- ・体をきたえ元気な子ども

「進んで学ぶ」とは、学習の動機を児童の意欲、思い、願いに求め、児童自身が「できた」「わかった」という学びを実感し、児童自身が次の学習への意欲をもつことだと考える。生活科において、主体的に学ぶ児童を育成することは、小林小学校の目指す児童像である「進んで学ぶ子ども」に迫ることができると考えた。

(3) 児童の実態から

本校は今年で開校148年目を迎える歴史ある学校である。昔ながらの地域も現存しているものの、新興住宅地として造成された地区も年々広がっている。教育への関心が高い家庭、低い家庭の差が大きく、児童の生活経験にも大きな差がある。

児童は、生活科の学習について、意欲的に取り組んできた。しかし、これまで教師主導の授業が多かったため、児童自身がどうしたいのか、何のための活動なのか、答えられない児童が多い。学習が体験のみで終わってしまうことも多く、児童に思いや願いをもたせ、

その後の学習につなげる指導が十分ではなかった。

そこで、本研究では主体的に学び合う児童を育成するために、学習の導入や振り返りの活動を充実させた生活科の授業づくりを主題として設定した。

3 研究のねらい

生活科における導入、振り返りの工夫を通して、主体的に学び合う児童を育成する生活科の学習指導方法を明らかにする。

4 本研究における主題の基本的な考え方

ア 「主体的に学び合う」とは

- ① 対象に対して、思いや願いをもって何度も関わろうとすること
- ② 活動や体験を通して成長・変容した自分自身に気づき、次の活動に意欲をもつこと

イ 主体的に学び合っている児童の姿

- ・興味関心を高めている。 ・見通しをもっている。
- ・自分と結び付けている。 ・粘り強く取り組んでいる。
- ・振り返って次につなげている。

5 研究の仮説

仮説1 単元や本時の導入を工夫すれば、思いや願いをもち、主体的に学習を進めるだろう。

【手立て】

- ①子どもの生活体験を生かす。
- ②それまでの活動内容や児童の姿、言葉を、きっかけにする。
- ③教師が学習の見通しをもち、生活の中で次の学習につながる発言をする。
- ④児童と相談して、単元名や学習の流れを決める。
- ⑤学習計画表を掲示し、見通しをもたせる。

仮説2 単元や授業の終わりで、自分の成長変容に気付けるような振り返りや交流の場を工夫すれば、自分の成長変容に気づき、次の学習にも主体的に取り組むだろう。

【手立て】

- ①振り返りカードについて
 - ・自分の成長に気付くことができるような観点を設定する。
 - ・児童の変容、思い、願いを自覚させるような教師のコメントを入れる。

②交流について

- ・様々な形の交流の場を設定し、様々な考えに触れられるようにする。

③掲示物について

- ・学習とともに変化させていけるようにする。

6 検証方法

抽出児童の発言や振り返りカードの記述内容から変容を捉える。

7 授業実践①【2年生】

(1) 単元名 春はっけん

(2) 単元の目標

○育てている植物に合った世話の仕方があることに気付くことができる。(知識及び技能の基礎)

○校庭や通学路の春を探す活動を通して、冬との違いや春の様子について考えることができる。

(思考力、判断力、表現力等の基礎)

○自分も周りの支えがあって進級できたことに気付き、意欲的に学習に取り組もうとする。


(学びに向かう力、人間性等)

○季節の変化や地域の施設・人々のことが分かり、それらを積極的に調べようとする。

(学びに向かう力、人間性等)

(3) 指導の実際と評価の計画(25時間扱い)

単元 「春はっけん」	総時数 25時間
小単元 「どんな2年生になろうかな」	7時間
小単元 「春のあそびはっけん」	1時間
小単元 「花ややさいの大きくなるひみつはっけん①」	4時間
小単元 「春の町はっけん」	13時間

時配	学習内容と学習活動	評価規準(評価の観点)【評価方法】
1	<p>○通学路にはどんな春があるか紹介しよう。</p> <p>・友達の通学路の紹介を聞いて、散歩に行く場所を決める。</p> <p style="text-align: center;"><仮説1 導入の工夫></p> <p>【単元導入の様子】<仮説1 導入の工夫></p> <p>学校の敷地内で、たくさんの春を見つけた児童に、通学路でも春があるか投げかけた。思い出したことを付箋に書いて地図に貼ったところ、「スカスカだな。」という感想をもつ児童が多かった。また、「覚えていることだけでは足りないので、見にいきたい。」という意欲をもつ児童がたくさんいた。</p> <p>また、「地図ができあがったら、1年生やお家の人に見てもらいたいな。」という思いをもつ児童の声を広げ、全員で共有し発表相手として設定した。</p>	<p>・自分の家から学校までの道のりを振り返り、友達に紹介している。(思考・判断・表現)【発言】</p>
		<p>○導入で提示した地図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この地図じゃ、わかりにくい。 ・見てきて、書き足したい。 ・完成したら、1年生に発表したいな。 ・お家の人にも、見てもらいたいな。

<p>2</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>○学校の外に出かけ、散歩を楽しみながら春を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目…学校～キムチ屋～小林駅～小林北駅前公園～学校 ・ 2回目…学校～鳥見神社～野菜直売所～学校 ・ 一人ずつ chrome book をもち、見つけた春を撮影する。 <p style="text-align: center;"><仮説2 振り返りの工夫></p>	<p>・ 散歩を通して、春の町の様子に気付いている。</p> <p style="text-align: right;">(知識・技能)【観察・記録】</p>
----------------------------	--	---

【散歩の様子】 <仮説2 振り返りの工夫>

児童は、予め教師が設定した撮影場所で花などの春を見つけ、カメラに収めていた。短時間で、たくさんものを撮影することができていた。

また、町の人にも目を向けさせるため、教師は「この花は、だれが世話をしているのかな。」「野菜は勝手に育っているのかな。」など児童に声をかけたり、児童のつぶやきを拾ったりした。

以前、読み聞かせて読んでもらった本に出てきた植物を見つけ、思い出している児童が多かった。生活と結びついている様子が見られた。



きれいな花がさいているよ。



大事なことが書いてあるよ。
みんなが使うからかな。



家の人と来たことがあるよ。
駅員さんがいるよ。



野菜がたくさん植わっているよ。
だれが、育てているのだろう。

<p>5</p>	<p>○見つけた春を地図に書き加え、発表し合う。</p> <p>・自分の撮った写真を見返して、付箋を書く。 <仮説2 振り返りの工夫></p> <p>【活動の様子】 <仮説2 振り返りの工夫></p> <p>見つけたものを付箋に書いて地図に付け足していった。(ピンク…自然, 黄色…建物・施設, 黄緑…人) 自分の撮った写真を何枚も見返しながら思い出していた。</p> <p>授業の最後に、「じゃあこれで1年生に発表しよう。」と投げかけると、付箋が少ないことに気づき、「せっかく発表するならもっと書きたい。」「もっと書いて、付箋でいっぱいになりたい。」等、発表相手のことを意識した発言をする児童が多かった。次の時間の活動については「もっと付箋を付け足していきたい。」という思いをもっていることがわかった。</p>	<p>・散歩で発見したことを思い出しながら、地図に表現している。 (思考・判断・表現)【作品】</p>
<p>6 (本時)</p>	<p>○前時までの地図を振り返り、本時のめあてを確認する。 <仮説1 導入の工夫></p> <p>○個人で、さらに知りたいことについて考え、付箋に書いていく。</p> <p><仮説2 振り返りの工夫></p> <p>○グループで、付箋をもとにさらに知りたいことについて話し合う。</p> <p><仮説2 交流の場の工夫></p> <p>○どのような疑問が出てきたのか、全体で発表し合う。</p> <p>○次時の見通しをもつ。</p> <p>○本時の振り返りを行う。</p>	<p>・散歩で発見したことを思い出しながら、地図に表現している。 (思考・判断・表現)【作品】</p>



振り返って、次につなげる姿

【導入の様子】 <仮説1 導入の工夫>



前時の終わりには、作っていた地図が発表するにはまだ早いのではないか、もっと付け足した方がいいのではないか、という意見が児童から出ていた。そのため、導入では、「もっと地図に付け足したいことを考える。」という本時の活動やその目的が、児童側から出された。見通しをもっている姿が見られた。

見通しをもって取り組む姿

【付箋を書き足す様子】 <仮説2 振り返りの工夫>



活動の前に、建物やそこで働く人など、さらに付け足すとよいことの視点を児童に与えた。その後、タブレットで自分の撮った写真を振り返ることで、視点に沿って気付くことができた。




【交流の様子】 <仮説2 交流の場の工夫>



各自が書いた付箋を持ち寄り、地図に貼っていった。「同じことを書いたね。」と確認し合って重ねて貼ったり、友達が書いた付箋を見て、思い出したことをさらに付箋に書き付け足したりしていた。

自分と結びつけている姿

7	<p>○行きたい場所やインタビューしたい人について話し合い、場所別のグループを作る。</p> <p>・町探検の計画を立てる。</p>	<p>・思いや願いをもって、探検の計画を立てようとしている。</p> <p style="text-align: right;">(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p style="text-align: right;">【つぶやき・記録】</p>
<p>【活動の様子】</p> <p>前時までには書いた付箋をもとにして、聞きたいことを決めることができていた。</p> <p>1年生の時の国語の学習でインタビューを行ったことがあった。そのことを伝えると、「1年生の時は学校の先生だけど、今度は町の人に聞くんだった。広がるんだね。」という言葉が聞かれた。1年生の時のインタビューは緊張していた様子だったが、今回のインタビューに対しては、わくわくしている様子の児童が多かった。</p>		
8 9	<p>○グループごとに町探検に出かける。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">神社コース</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">寺コース</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">畑コース</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">駅・守り隊コース</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">郵便局コース</p>	<p>○町で見かけた様々なことに疑問をもって探検している。</p> <p>(思考・判断・表現) 【つぶやき・発言】</p> <p>○これまでに人と関わった経験を生かし、あいさつやインタビューをしようとしている。</p>

<p>・グループのメンバー5人が、5つのコースに分かれてインタビューをしに行く。</p>	<p>(主体的に学習に取り組む態度) 【行動・発言】</p>
<p>【活動の様子】 他の児童が質問することを聞き、ワークシートの裏にメモを取ろうと、意欲的だった。写真を撮る中で、「これは何ですか。」と自信をもって職員の方に聞く姿が見られた。その様子を見ていた周りの児童も、意欲的にインタビューをしていた。</p> <p>【振り返りの様子】 <仮説2 振り返りの工夫> 1年生の時の先生インタビューと比べてどうだったか、振り返らせた。1年生の時よりも言葉がしっかり言えたことや、話をよく聞けたこと、メモを取るスピードが速くなったことなどに気付き、自分の成長を実感している様子の児童が多かった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="224 698 577 970">  <p>狛犬っていうんだ。向こうにいるのこっちとで、少し違うな。</p> </div> <div data-bbox="832 698 1177 970">  <p>私たちのために、朝早くから立って、見守ってくれているんだな。</p> </div> </div>	
<p>10 ○見つけたことやインタビューしたことなど、全員で共有する。 11 ○写真の説明を考える。 ・オクリンクを利用する。</p>	<p>・町には働いている人や暮らしている人がたくさんいることに気付いている。 (知識・技能)【発言・記録】</p>
<p>【活動の様子】 オクリンクで他の児童の写真を見ることで、写真をもとにその児童に質問をする様子が見られた。また、この頃から「写真を見せただけだと、1年生がわからないよ。説明が必要だ。」など、聞き手のことを考えた発言や聞き手を意識した振り返りが増えてきた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="257 1385 655 1696">  <p>この写真に写っている、これってなに？</p> </div> <div data-bbox="793 1385 1240 1476" style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>見通しをもって取り組む姿</p> </div> </div>	
<p>12 ○グループごとに発見したことをまとめ、発表会の準備をする。 ・言葉付きで、同じ地図を作るグループで説明をする。</p>	<p>・町には、安全を守る施設や標識などがあることに気付いている。(知識・技能)【発言・記録】 ・グループの友達の意見を尊重しながら、発見を上手に伝えようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) 【行動・発言】</p>

【活動の様子】

友達の説明を聞きながら、「そこがわからないよ。」と伝え合っていた。自分でよりよく直すことができない児童は、グループの友達のアドバイスを聞いて直す様子が見られた。また、「ぼくがパソコンの操作をするから、相手のことを見て話してみて。」など、役割分担をして、よりよい発表にしようとする姿もあった。



パソコンの操作は、ぼくがやるよ。

粘り強く取り組む姿

13

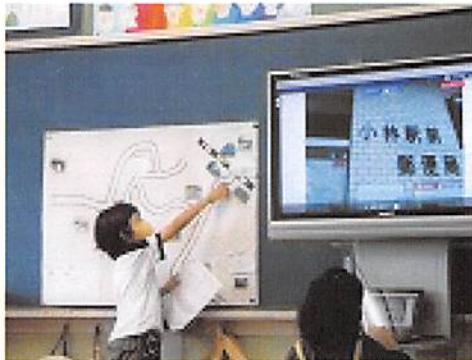
○グループごとに、発見したことを1年生に伝える。**<仮説2 交流の場の工夫>**
・発表会の振り返りカードを書き、また行きたいところや新たな疑問について話し合う。

・町で見つけた発見を、1年生に工夫して伝える。

(思考・判断・表現)【行動・発言】

【発表会の様子】

1年生への発表は、1, 2組それぞれ4グループを4カ所に分けて行い、違う組の発表も聞けるようにした。交流の場を工夫したことで、自分が行っていないところの発表を聞いて驚いたり、「行ってみたい」とつぶやいたりしていた。また、1年生から発表の感想を聞くと、「1年生が小林に詳しくなってよかった。」と、これまでの自分たちの頑張りを振り返り、満足そうにしていた。



今度は駅から電車に乗って、線路がどこに続いているか見たいです。



1年生が小林に詳しくなってよかった。

自分と結びつけている姿

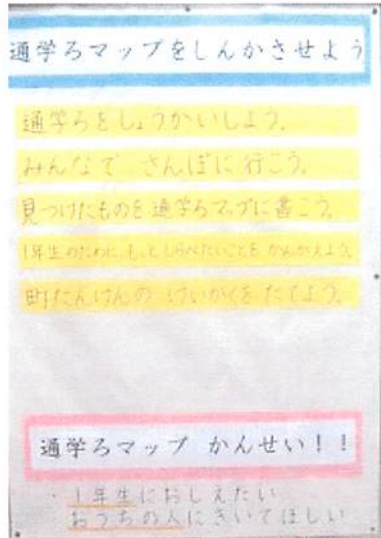
興味関心を高めている姿

< 掲示物 >

仮説1 思いや願いをもたせるための手立て

仮説2 成長変容を実感させる振り返り

○学習計画表の掲示



ゴールを常に掲示したことで、児童が学習の見通しをもつことができた。

○地図の進化の様子の掲示



休み時間にながめて、地図の進化を感じている姿が見られた。

(4) 児童の変容

児童A

めあて:みんなでさんぽに行き、はらを見つけよう。
 えきの中にはいっぱいしはなをと、たいしたので
 たのしみ、はら、花は、白やひやくのえが、めいじした。
 つぎは、も、花やたてものをいっしょに見たいです。
 ぜんかいより 小林に ぐわしくなりましたか? (◎) ○ △
 花やたてものを もと見て、もと小林に ぐわしくなりたいね。

めあて:町たんけんのかいやくをたてよう
 しらべて一年生がわかるようにするのがたのしみ
 たのしみ一年生がどんとどんとおもしろく、ぐわしくなりたいです
 つぎはまもりたいの人にきいてどなたぶんうにまたえたい
 ぜんかいより 小林に ぐわしくなりましたか? (◎) ○ △
 1年生がぐわしくなれるように、さんぽをしらべようね。

2回目の振り返りでは、散歩で楽しかったこと、見つけたものの記載であった。6回目の振り返りでは、「1年生に聞いてもらう。」というゴールを意識した振り返りとなっている。また、1年生に道に詳しくなってほしい、という強い思いも感じられるようになっており、主体性が高まったと考えられる。

児童B

めあて: みんなでさんぽに行き、はるを見つけよう
 小林えきのろうがみたいた、とこのまどから下を見る
 とけしきがきれいでした(すごいた)とおもいました。
 つぎは、またいろいろしたいです。
 ぜんがいより 小林に かわしくなりましたか?

えきから見ると、まわりがよく見えたね。つぎはなにをしてみたい?

めあて: 見つけたものを通学路マップに書く
 見たたてものとか、花と木を、せんに字をかいた
 字をかいた、せんちは、たりするのがたのしかった
 つぎは、おてらとじんじょはなにがちがうのかがし
 ぜんがいより 小林に かわしくなりましたか?

おてらについて、もっとかわしくなってみようね。

たの
から
おて
ら

2回目の振り返りでは、散歩での景色のきれいさについて記載しているが、4回目の振り返りでは、もっと知りたいことを交流する中で、「お寺と神社は何が違うのか。」と新たな疑問をもち興味関心を高めて活動に参加している様子から、主体性が高まったと考えられる。

8 授業実践②【1年生】

(1) 単元名 みんな なかよし

(2) 単元の目標

○動植物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。 (知識及び技能の基礎)

○植物の育つ場所，変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。

(思考力，判断力，表現力等の基礎)

○動植物への親しみをもち，大切にしようとしている。

(学びに向かう力，人間性等)

(3) 指導の実際と評価の計画 (29時間扱い)

単元「みんな なかよし」	総時間 29時間
小単元「ともだちと なかよし」	4時間
小単元「がっこうと なかよし」	8時間
小単元「いきものと なかよし」	1時間
小単元「さいばい：はなや やさいと なかよし①」	10時間

時配	学習内容と学習活動	評価規準 (評価の観点)【評価方法】
1	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">アサガオのたねをまこう。</p> <p>○校庭を探検し，どんな植物がさいているか話し合う。</p> <p>・2年生から種をもらったことから，育ててみたいという気持ちをもつ。</p> <p style="text-align: center;"><仮説1 生活体験を生かす></p>	<p>・気付いたことや感じたことを友達や教師に進んで伝えている。(思考・判断・表現)</p> <p style="text-align: right;">【つぶやき・発言】</p>
2	<p>○アサガオの種を観察し，学習の見通しをもつ。</p> <p>・アサガオの育て方や必要な物について確認する。</p> <p style="text-align: center;"><仮説1 生活体験を生かす></p>	<p>・種の様子を観察し，色や形，大きさ，アサガオの思いを絵や文で表現している。</p> <p style="text-align: right;">(思考・判断・表現)</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート】</p>
3	<p>○アサガオの種のまき方を確認し，種をまく。</p>	<p>・種の成長を願いながら，丁寧に植えている。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p style="text-align: right;">【観察】</p>
<p>【導入の様子】 <仮説1 生活体験を生かす></p> <p>グラウンドや中庭を散歩することで，身近に様々な植物があることに気付いていた。</p> <p>また，2年生から種をもらったことで，児童の関心意欲が高まった。種の様子の観察では，「石ころみたい。」という発言があった。そこで，「硬い種から，この花になるには，何が必要なのかな。」と，2年生が描いたアサガオの絵を見て問いかけると，「人間の布団みたいに，かけてあげる土が必要だよ。」「家も必要だ。」と，これまでの経験などを生かし，種をまくために必要なものを発言させ，クラスで共有することができた。</p>		



2年生のみなさん、ありがとうございます。



早く土に入れてあげよう。



なに色の花がさくのかな。

自分と結びつけている姿

見通しをもって取り組む姿

どんなふうに そだつかな。

- 4 ○発芽したアサガオの成長の様子を観察し、気付いたことを付箋に書き、自分のアサガオを写真に撮る。
- 5 ○付箋や写真をもとに、観察カードにアサガオの様子を絵や文でまとめる。
<仮説2 振り返りの工夫>
- 6 ○付箋にまとめた気づきを発表し合い、世話の仕方を考える。
<仮説2 交流の場の工夫>

☆育てている植物に心を寄せ、繰り返し関わろうとしている。〔常時活動〕

(主体的に学習に取り組む態度)

【行動・観察】

・諸感覚を使ってアサガオを観察して、アサガオの変化や成長の様子に気付いている。
(知識・技能) 【発言・付箋】

・アサガオの変化や成長の様子、アサガオの気持ちについて、絵や文で表現している。
(思考・判断・表現) 【発言・観察カード】

・友達と話したことをもとに、今後の世話の仕方について自分の考えをもっている。
(思考・判断・表現)

【発言・観察カード】

・アサガオの成長や変化に目を向け、気付いたことを友達に伝えようとしている。
(主体的に学習に取り組む態度)

【発言・観察・付箋】

【観察の様子】

鉢を昇降口への通り道に置いたことで、全員が毎日アサガオの様子を確認することができ、様子の変化にもよく気付いていた。水やりも意欲的に行い、あげる水の量を意識している児童もいた。

教科書を参考にして、「紙コップスコープ」を製作した。自分だけの道具にとっても喜び、進んで活用して、観察することができていた。

記録には、タブレットも活用した。タブレットで撮影した写真は拡大することができるので、細かい毛が生えていることに気付いた児童が多かった。また、これから出ようとしている小さな葉にも気付くこともできた。

興味関心を高めている姿

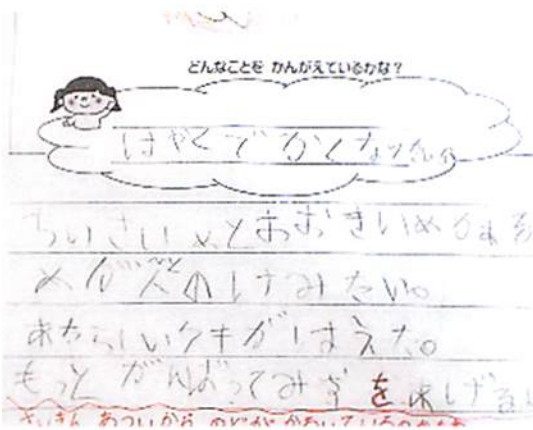


アサガオがどんなことを考えているか、聴き取ろうとしています。




始めに出てきた葉っぱと、形がちがうな。

【振り返りカードについて】 <仮説2 振り返りの工夫>



観察カードには、「自分のアサガオがどんなことを考えているか」を記入する欄を設けた。最後には、「これからどんな世話をしていきたいか」を記入させた。「もっと頑張って水をあげたい」「土が濡れたら水をあげないようにする。」など、児童の思いを見取ることができた。

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ぐんぐん おおきく なあれ。</div> <p>7 ○蔓が伸びてきたアサガオの様子を観察し、付箋に書く。 <仮説2 交流の場の工夫></p> <p>8 ○写真や付箋を見ながら、観察カードに蔓が伸びたアサガオの様子をまとめる。</p>	<p>☆育てている植物に心を寄せ、繰り返し関わろうとしている。〔常時活動〕 (主体的に学習に取り組む態度) 【行動・観察】</p> <p>・諸感覚を使ってアサガオを観察して、アサガオの変化や成長の様子に気付いている。(知識・技能) 【発言・付箋】</p> <p>・アサガオの変化や成長の様子、蔓が伸びてきたアサガオの気持ちについて、絵や文で表現している。 (思考・判断・表現) 【発言・観察カード】</p>
<p>9 (本時)</p>	<p>○アサガオの成長の様子で気付いたことを伝え合い、世話の仕方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成長過程を写真で提示し、振り返る。 <p><仮説1 導入の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て、気付いたことを付箋に書く。 ・個々が発見した気づきを全体で共有する。 <p><仮説2 交流の場の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時を振り返り、次時の活動について知る。 	<p>・友達と話し合ったことをもとに、今後の世話の仕方について自分の考えをもっている。(思考・判断・表現) 【発言・観察カード】</p> <p>・アサガオの成長や変化に目を向け、気付いたことを友達に伝えようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) 【発表・付箋】</p>
<p>【導入の様子】 <仮説1 導入の工夫></p>		
<p>これまでアサガオがどのように成長してきたか、掲示物を使って確認した。児童とやり取りをしながら、とても大きくなったことを確かめた。</p>		
		
<p>【児童の活動の様子】 <仮説2 交流の場の工夫></p>		
<p>児童がアサガオの観察をする中で気付いたことを、色分けした付箋にメモさせた。児童が書いた付箋は学級全体で紹介しあい、共有する活動を行った。観察したことだけではなく、「不思議に思ったこと」「困っていること」なども共有できるように、声をかけていった。付箋に、アサガオの感じていることを書かせると、「痛いよ。」「もっと広いところに行きたいな。」など、ぐんぐん成長しているアサガオの様子を捉え、書き表す児童が多かった。</p> <p>また、これからの世話について考えるときには、道徳で学習した「かぼちゃのつる」を思い出し、「このままだと蔓が踏まれてしまう。」という考えをもつ児童もいた。</p>		
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分と結びつけている姿</div>		



書いた付箋を発表し、みんなで共有しています。



アサガオの実物を用意し、児童が発表したことを確認しています。



10

もっと おおきく なってね。

・蔓が伸びてきたアサガオに必要な世話を知り、支柱を立て、継続的に世話をする。

・アサガオの変化や成長に応じた世話の仕方を自分なりに考えながら、実践している。(思考・判断・表現)

【発言・行動観察】

【活動の様子】

「前はおへそのところだったけど、今は上の方まで伸びている。」とアサガオの成長におどろきながら、支柱を立てている様子が見られた。さらに新しい蔓が伸びていることに気付いていた。

興味関心を高めている姿

しぼんだ花を取ったときに手が汚れたことから、色水遊びができそうなことに気付かせた。「早く、色水あそびをしてみたい。」という願いをもち、しぼんだ花を意欲的に集めている。

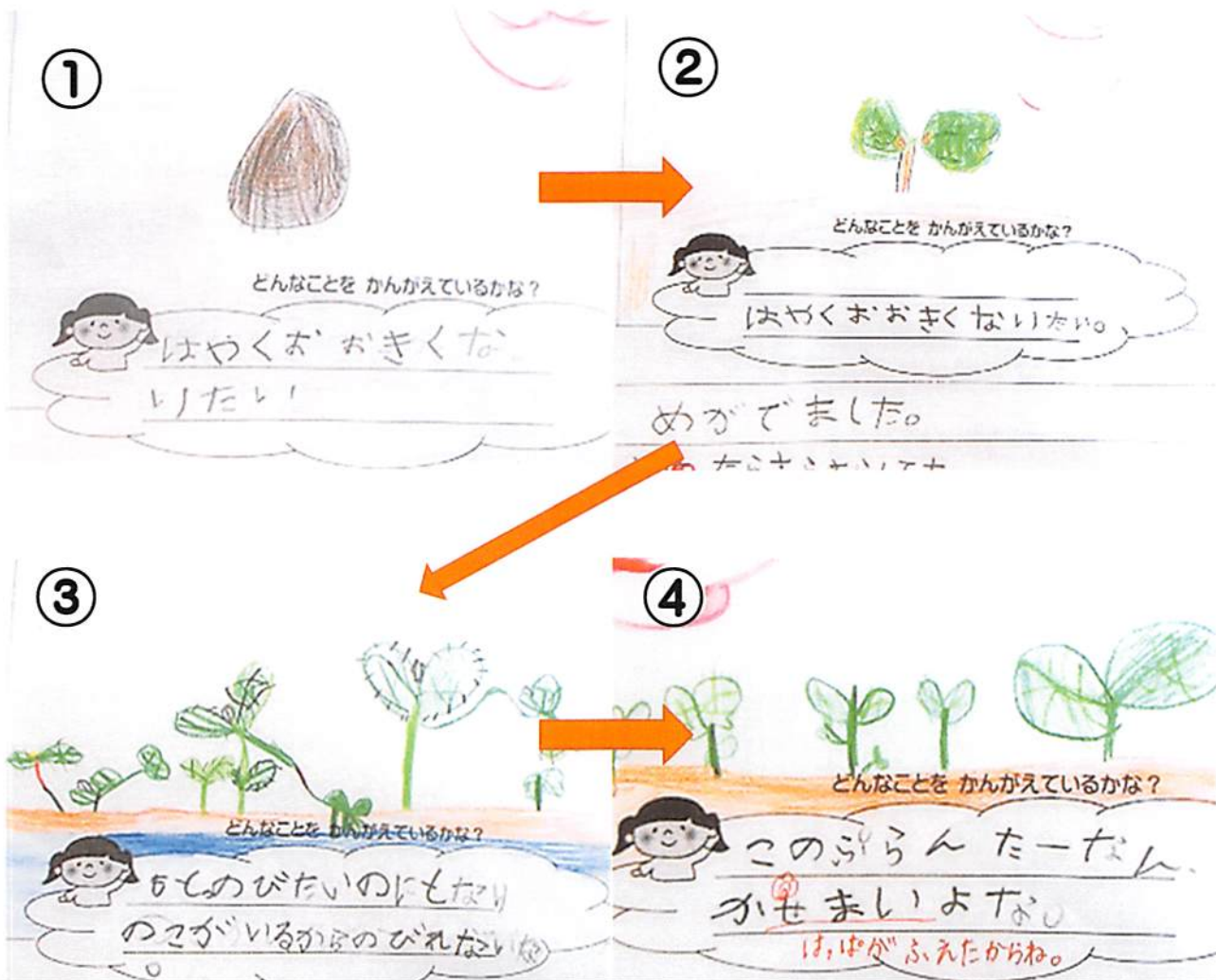
< 掲示物 >



付箋の活用
 「みつけたよ」「さわったよ」「においがしたよ」「きこえたよ」「なんだろう」の五つの観点から付箋を書かせた。

(4) 児童の変容

児童 A



児童 A は、はじめは「はやく大きくなりたい」と同じ内容の記述だった。その後、友達と付箋の内容を交流したり、世話を継続したりしていく中で、「もっと伸びたいのに、となりの子がいるから伸びれない。せまい。」と大きくなる様子に関心を高めている様子がわかる。

9 仮説の考察

仮説1 単元や本時の導入を工夫すれば、思いや願いをもち、主体的に学習を進めるだろう。

- 単元の導入時、最終ゴールを児童と話し合うことで、「最後には〇〇するのだから、こうしたい。」という思いをもって、最後まで活動することができた。
- 学習計画表を掲示することは、児童が最終ゴールを意識したり、学習の見通しをもって活動をしたりに対して有効であった。
- ▲ 1年生のアサガオの学習では、児童の生活体験と自然活動をつなげることが難しかった。校内を散歩して色々な植物があることに気付かせたり、2年生から種をもらったりしたところから、児童の知っていることを話し合わせるなど、単元によって効果的な導入を考えていく必要がある。
- ▲ 他の教科にも、生活科の単元に関連する学習がたくさんある。単元配列表で、関連する単元を矢印で示すなどして整備し、意識して指導していけるようにする必要がある。

仮説2 単元や授業の終わりで、自分の成長変容に気付けるような振り返りや交流の場を工夫すれば、自分の成長変容に気付く、次の学習にも主体的に取り組むだろう。

- 2年生では、成長を捉えさせるために、「前回よりも小林に詳しくなりましたか。」という振り返りを毎回行わせた。「町探検をして、よく見たので詳しくなった。」「友達の発表を聞いて、知らなかったことを知れて詳しくなった。」など、児童が、これまでの自分とは違うところを意識することができた。
- 同じクラスの児童だけではなく、隣のクラスや他学年の児童と交流を設定すると、「聞いてもらう」という気持ちからか、粘り強く取り組む姿が見られるようになった。
- 付箋を活用すると、書いた量が視覚的に捉えやすくなり、児童の積極的な活動に効果的であった。
- ▲ 振り返りカードを使用することで、教師が児童の変容に気付くことができた。児童に、自分の成長変容に気付かせるためには、振り返りカードを基にして声をかけたり「長い間、アサガオのお世話をしてきたね。みんなすごいね。」と伝えたりするなど、教師からの投げかけが必要であった。
- ▲ 振り返りを書くことに時間がかかってしまい、活動が十分に行えないこともあった。振り返りを書かせる時間は5分程度で1行程度にして、毎回行わせていきたい。また、振り返りを交流させることで、互いの考えにも触れさせる必要がある。